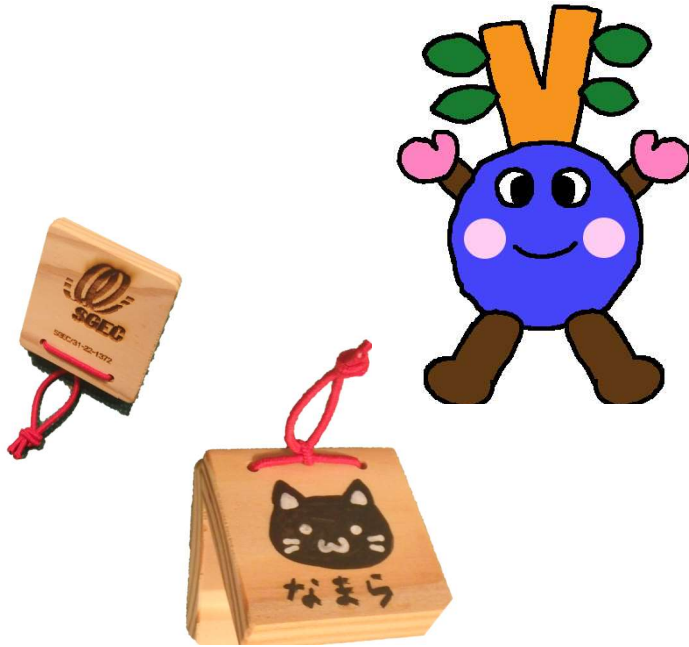


森林認証取得テキスト

家具・クラフト製造業者、工務店をはじめとした
すべての加工事業者の皆さまへ





森林認証が活用されている事例

森林認証製品の開発と地域の木育活動等での活用 (取組主体: 岩泉の明日の林業をつくる会)

岩手県岩泉町で森林認証材の利活用を推進しているグループでは、県内外の教育現場において森林認証を用いた木育事業の実施とともに、国内でも数少ない広葉樹認証材を活かした製品を製作し、学びや暮らしの中での認証材の活用を促進しています。

町産認証材樹種プレート ▶



大型ホームセンターでの森林認証資材の販売 (取組主体: 株式会社ジョイフル本田)

関東地方の大型ホームセンターでは、クリーンウッド法の改正に伴い、角材や合板などの森林認証製品の売場を設けるとともに認証制度の説明を掲示しており、資材売場を通じて、信頼のある仕入先を介してカーボンゼロ社会への貢献を目指すこととしています。

資材売場に並ぶ認証製品 ▶



世界的な家具メーカーでの森林認証材の使用 (取組主体: Carl Hansen & Son)

Y チェアで有名なデンマークの世界的な家具メーカー「カール・ハンセン&サン」は、サステナビリティに配慮した木材を使用し地球環境の保全に積極的に取り組んでいくことを責任として、森林認証を取得し、製品の90%を認証材で製作しています。さらに2025年までに、使用する木材の全てを認証材のみにすることを目標としています。(2024年2月 Carl Hansen & Son ホームページより)

はじめに

このテキストは、これから森林認証を取得しようと考えている事業者様へ、制度の内容や認証を取得するまでの流れ、認証材の利用事例を具体的に示し、森林認証に取り組む事業者の拡大を図る目的で作成したものです。

森林認証は、「社会」「経済」「環境」の3つを同時に担保する認証であり、森林認証のロゴマークが商品に表示されることで、消費者が、持続可能な森林管理のもと産出された木材や製品を選択することができます。

上川地域では、市町村や森林組合、民間企業、道により、民有林のうち7割近くの森林が認証を取得しており、素材生産業者や製材工場を中心に複数の事業者が加工・流通過程の森林認証を取得しています。

この先、家具・クラフト製造業などの木材を加工する事業者の皆様による、認証森林から産出された木材を選んで仕入れ加工して販売する、あるいは自らも加工・流通過程の森林認証を取得する、といった取組が、地域の持続可能な森林づくりを後押しすることに繋がります。

近年は国内外で違法伐採対策の強化の動きがあり、国内では、「合法伐採木材等の流通及び利用の促進に関する法律の一部を改正する法律」が令和7年（2025年）4月1日から施行されます。加えて、企業の社会的責任や消費者の環境配慮への意識の向上等により、今後は、持続可能性に配慮した木材調達へと転換していくことが必要と考えられます。

大手ハウスメーカー、建材商社、家具メーカー、事務機器メーカー、玩具メーカーなど、森林認証を取得する事業者は増加しており、ますます森林認証制度への関心は高まっています。

このテキストが、皆様の製品・サービスの素晴らしさを高め、販売促進や地域貢献の一助となれば幸いです。
